

履修時期	2026年度前期	授業クラス	11	曜日	木	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	テーマパーク安全対策			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
国内外のテーマパークで勤務し、新人教育や新規部署の立ち上げを行う。 本校で講師をしながら、テーマパーク・遊園地企業の研修や業界セミナーの講師を行う。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
日常から無意識でも安全に対する意識を持つようになる				安全の重要性を理解し、お客様の命を預かる責任の重さを体感する。夏季企業実習までに各初動対応を体験型で学習することで、自信を持って現場に立てるようになる。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テーマパークにおいて事故やトラブルの予防・初期対応・報告・連携など、安全管理に関する知識の習得と、ゲストの不安を和らげるホスピタリティマインドを養い、現場での判断力と冷静な対応力ですべてのゲストに安心して楽しんでもらえる環境づくりに貢献できる人材になることを目標とします。 (授業形式) 講義で知識を身に付け、実践と確認テストで基礎技術を定着させる。 (教材) オリジナル教材 (評価方法) 単元ごとに筆記試験を実施し、その点数で評価する。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月16日	オリエンテーション テーマパークにおける「安全」について			<input type="checkbox"/> 安全を守ることが信用・信頼を守りに直結することを理解する						
2	4月23日	KYT①			<input type="checkbox"/> 日常生活におけるKYTができるようになる <input type="checkbox"/> 自身の安全を守ることの大切さを説明できる						
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	確認テスト(筆記:20点) KYT②			<input type="checkbox"/> 学内でKYTを実施し、アウトプットを行う <input type="checkbox"/> 常に安全意識を高く持つ癖を身に付ける						
5	5月21日	KYT③ ※子供に迫る危険			<input type="checkbox"/> 子供の安全を守る際の留意点を理解する						
6	5月28日	スクリーニング①			<input type="checkbox"/> アトラクションにおける利用規定の説明ができる <input type="checkbox"/> スタッフの安全意識の高さを実感する						
7	6月4日	確認テスト(筆記:20点) スクリーニング②			<input type="checkbox"/> ワイドスピールを考え、実践する <input type="checkbox"/> お客様に合わせた個別対応を実践する						
8	6月11日	First Aid①			<input type="checkbox"/> 傷病者対応(熱中症、嘔吐、切り傷、鼻血、アレルギーなど)を理解する						
9	6月18日	確認テスト(筆記:20点) First Aid②			<input type="checkbox"/> AEDの使用法、心肺蘇生について理解する <input type="checkbox"/> 傷病者の搬送方法を理解、体験する						
10	6月25日	エバキューエーション①			<input type="checkbox"/> エバキューエーションの流れを理解する						
11	7月2日	確認テスト(筆記:20点) エバキューエーション②			<input type="checkbox"/> エントランス、Qライン途中でのエバキューエーション時の声掛けを実践できる						
12	7月9日	火災・地震発生時の初期対応			<input type="checkbox"/> 火災、地震の知識を身に付ける <input type="checkbox"/> 火災、地震が起きた際の声掛けを実践できる						
13	7月16日	確認テスト(筆記:20点) 模擬授業準備			<input type="checkbox"/> 前期の振り返りを行う <input type="checkbox"/> チームごとに発表の準備を行う						
14	7月23日	模擬授業発表			<input type="checkbox"/> 自身の発表を通じて、安全意識を定着させる <input type="checkbox"/> 他業界の安全意識について話を聞いて、安全意識の幅を広げる						
15	7月30日	フィードバック									

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	パフォーマンストレーニング			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
クラウン(ピエロ)として現場でのパフォーマンス経験があり、その経験に基づき表現力・即興力・技術力を指導している。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
ジャグリングボール、バルーンなど 大切なことは、与えられたツールの活用力				授業で使用する「ツール」を、ただ扱える技術に留まらず、将来テーマパークの現場で働く際に、その場に与えられたツールを使ってお客様に夢を魅せるエンターテインメント精神を身に付ける。 そのために、立ち位置や表情、言動にも気を配ることの大切さを実感する。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 普段触れる機会が無い道具やバルーンを使い、演習を中心にエンターテインメントの表現方法を身につけるだけでなく、サービス業に従事する者にとって、必要不可欠なエンターテインメント精神を研究・分析し、幅広い表現力や自由な発想力・想像力も身につけることを目標とします。											
(授業形式) ジャグリングボールやバルーン、身体表現を使った実技演習中心授業。実技の様子を動画に記録し、自身の成長を可視化する。											
(評価方法) 3回の演習テストの合計点(満点100点)により評価する。 一人や複数人のお客様を想定して、自分なりの工夫を織り交ぜながらエンターテインメントを相手に届ける姿勢を評価。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月15日	オリエンテーション コミュニケーション			<input type="checkbox"/> 授業の目的・目標を理解する事が出来る。 <input type="checkbox"/> パフォーマンスの楽しさを感じ取る。						
2	4月22日	自己PR			<input type="checkbox"/> 人前で自己PRが出来る。 <input type="checkbox"/> 他者の表現方法を受け入れ共有出来る。						
3	5月13日	ノンバーバルトレーニング(職業表現他) ジャグリング			<input type="checkbox"/> 複数人で協力し、身体表現が出来る。 <input type="checkbox"/> 1つのボールを左右交互にキャッチ出来る。						
4	5月20日	バルーン(犬、他)			<input type="checkbox"/> バルーンのサイズが理解出来る。 <input type="checkbox"/> バルーンの捻り方が理解出来る。 <input type="checkbox"/> 基本の「犬」を作ることが出来る。						
5	5月27日	確認テスト①(演習:30点)バルーン ※追試の場合は翌週実施 ※実技の様子を撮影し、ロイロに提出			<input type="checkbox"/> 1本のバルーンから作品を作ることが出来る。 <input type="checkbox"/> 与えられたツールを使って、お客様にエンターテインメントを届けることが出来る。						
6	6月3日	ノンバーバルトレーニング(名刺ジェスチャー、他) ジャグリング			<input type="checkbox"/> 複数人で協力し、身体表現が出来る。 <input type="checkbox"/> 2つのボールを左右交互にキャッチ出来る。						
7	6月10日	課外活動:東京ディズニーリゾート									
8	6月17日	バルーン(4つ花・6つ花、他)			<input type="checkbox"/> 前回の作品の作り方を覚えている。 <input type="checkbox"/> 2本のバルーンから作品を作ることが出来る。						
9	6月24日	確認テスト②(演習:30点)バルーン ※追試の場合は翌週実施 ※実技の様子を撮影し、ロイロに提出			<input type="checkbox"/> 1本のバルーンから作品を作ることが出来る。 <input type="checkbox"/> 与えられたツールを使って、お客様にエンターテインメントを届けることが出来る。						
10	7月1日	パントマイム(壁・キャッチボール、他) ジャグリング			<input type="checkbox"/> パントマイムの基本的な動きが出来る。 <input type="checkbox"/> 2人でキャッチボール(パントマイム)が出来る。 <input type="checkbox"/> 2つのボールを交互にキャッチ出来る。						
11	7月8日	ノンバーバルトレーニング(いす取り、他) ジャグリング			<input type="checkbox"/> 観客(生徒)の前で1人で身体表現が出来る。 <input type="checkbox"/> 複数人で協力し、身体表現が出来る。 <input type="checkbox"/> 2つ以上のボールを交互にキャッチ出来る。						
12	7月15日	確認テスト③(演習:40点)ジャグリング ※追試の場合は翌週実施 ※実技の様子を撮影し、ロイロに提出			<input type="checkbox"/> 2つ以上のボールを左右交互にキャッチ出来る。 <input type="checkbox"/> 与えられたツールを使って、お客様にエンターテインメントを届けることが出来る。						
13	7月22日	バルーン(プレスレット、他)			<input type="checkbox"/> 前回の作品の作り方を覚えている。 <input type="checkbox"/> 2本のバルーンから作品を作ることが出来る。						
14	7月29日	フィードバック ジャグリング			<input type="checkbox"/> 前期を振り返り、後期の課題を見つけることが出来る。 <input type="checkbox"/> 2つ以上のボールを左右交互にキャッチ出来る。						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	11	曜日	火	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	ホスピタリティ研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
テーマパークの現場で多数職種の業務経験の他、新人教育や入社導入研修のインストラクターなどを担当。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材:PowerPoint、ロイロノート 自己学習法:学んだことを学校生活、アルバイト、企業実習先で実践する				①ホスピタリティの重要性を理解し、ホスピタリティに必要な5つの「力」を身につける ②様々な事例に対して対応できる力を身につける ③学内やアルバイト、企業実習先で、+αのホスピタリティ対応ができるようになる							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) ブライダル、エアライン、鉄道、ホテル、テーマパーク、クルーズなど、各業界の事例をもとに、ホスピタリティに必要な5つの「力」を学び、ホスピタリティの重要性を理解し、実践的なスキルを身につける。											
(授業形式) ホスピタリティに必要な5つの力について業界事例をもとに、自ら気づきを得るためのワーク、ディスカッション・実技形式を中心とした授業を展開する。											
(評価方法) 確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。 D評価者は単位を付与しない。筆記1回(30点)、演習1回(30点)、レポート1回(40点)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月14日	・授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試 ・ホスピタリティとサービス			<input type="checkbox"/> ホスピタリティとサービスの違いを理解した <input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した						
2	4月21日	・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した <input type="checkbox"/> ケーススタディにより「感知・想像」がより理解できるようになった						
3	4月28日	・ホスピタリティに必要な力「感知力・想像力」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「感知力・想像力」について理解した <input type="checkbox"/> ケーススタディにより「感知・想像」がより理解できるようになった						
4	5月12日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した <input type="checkbox"/> 多様性・ダイバーシティについて理解した						
5	5月19日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マインド」について理解した <input type="checkbox"/> セルフマネジメントについて理解した						
6	5月26日	・ホスピタリティに必要な力「マインド」 【確認テスト】筆記(30点)			<input type="checkbox"/> 様々な考え方や行動があることを理解した <input type="checkbox"/> 確認テスト:レポート提出						
7	6月2日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した <input type="checkbox"/> 第一印象・表情・所作の重要性を理解した						
8	6月9日	コマ数調整のための予備授業									
9	6月16日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「マナー」について理解した <input type="checkbox"/> 言葉遣い・言葉の言い換え・価値語について理解した						
10	6月23日	・ホスピタリティに必要な力「マナー」 【確認テスト】演習(30点)			<input type="checkbox"/> なぜマナーが重要かを理解した <input type="checkbox"/> 確認テスト:動画提出						
11	6月30日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した <input type="checkbox"/> 質問力・褒め力について理解した						
12	7月7日	・ホスピタリティに必要な力「コミュニケーション・知識」 【確認テスト】筆記(40点)			<input type="checkbox"/> ホスピタリティに必要な「コミュニケーション・知識」について理解した <input type="checkbox"/> 確認テスト:レポート提出						
13	7月14日	ユニバーサル対応			<input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いについて理解した <input type="checkbox"/> ピクトグラムについて理解した						
14	7月21日	ユニバーサル対応			<input type="checkbox"/> 高齢者への配慮を理解した <input type="checkbox"/> 身体障がい者への配慮を理解した(聴覚・視覚)						
15	7月28日	まとめ									

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	月	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	ユニバーサルサービス			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
テーマパーク業界でアトラクションスタッフとして勤務経験あり。全国手話検定3級所持。											
教材・自己学習法・目指せる資格など						授業のねらい、将来の活用例など					
教材:テキスト「サービス介助士」 目指せる資格:サービス介助士						サービス介助士の合格を目指し、高齢者や障がい者への理解を深め、知識を学ぶ。 また様々な対応事例を通して、適切な接遇方法を学び実践できる。					
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テーマパークに訪れる障がい者、高齢者、妊婦への理解・支援について理解を深め、必要なサポートを行うためのスキルを身に着ける。											
(授業形式) 試験における重要ポイントを整理した上で、クラスメイト同士による問題演習を行い、理解の定着と合格率の向上を図る。											
(評価方法)											
①確認テスト(期中に2回実施)…全20問の問題に対して正しい回答を3択の中から選択してもらう(各20点満点)											
②模擬試験(期末実施)…全100問の問題に対して正しい回答を3択の中から選択してもらう ※50点分を付与します											
③課題提出(期末実施)…オンライン受講を締め切りまでに実施し、終了証明を提出(10点満点) ※未提出の場合、0点となります。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月13日	オリエンテーション/授業概要説明			<input type="checkbox"/> 学習の目的と目標を理解する <input type="checkbox"/> サービス介助士の必要性を理解する						
2	4月20日	サービス介助士の必要性			<input type="checkbox"/> 学習の目的と目標を理解する <input type="checkbox"/> サービス介助士の必要性を理解する						
3	4月27日	聴覚障がい者への理解、接遇			<input type="checkbox"/> 聴覚障がい者への理解を深める <input type="checkbox"/> 聴覚障がい者への好ましい接遇方法を実践できる						
4	5月11日	聴覚障がい者への理解、接遇			<input type="checkbox"/> 聴覚障がい者への理解を深める <input type="checkbox"/> 聴覚障がい者への好ましい接遇方法を実践できる						
5	5月18日	視覚障がい者への理解、接遇			<input type="checkbox"/> 視覚障がい者への理解を深める <input type="checkbox"/> 視覚障がい者への好ましい接遇方法を実践できる						
6	5月25日	視覚障がい者への理解、接遇			<input type="checkbox"/> 視覚障がい者への理解を深める <input type="checkbox"/> 視覚障がい者への好ましい接遇方法を実践できる						
7	6月1日	視覚障がい者への具体的な手引き方法			<input type="checkbox"/> 身体障がい者への具体的な手引きを理解する <input type="checkbox"/> 正しい手引きの仕方を実践できる						
8	6月8日	【確認テスト】テスト範囲:2~7 身体障がい者への理解、接遇/ 補助犬使用者の受け入れ方			<input type="checkbox"/> 身体障がい者や盲導犬、介助犬、聴導犬の理解を深める <input type="checkbox"/> 身体障がい者や補助犬使用者への好ましい接遇方法を実践できる						
9	6月15日	高齢者への理解 高齢者疑似体験、接遇			<input type="checkbox"/> 高齢者への理解を深める <input type="checkbox"/> 高齢者への社会的障壁を理解したうえで、好ましい接遇方法を実践できる						
10	6月22日	知的障がい者、発達障がい者、精神障がい者 への理解、接遇/ユニバーサルデザイン、円滑 なコミュニケーション、制度			<input type="checkbox"/> 知的、発達、精神障がい者への理解を深める <input type="checkbox"/> 知的、発達、精神障がい者への好ましい接遇方法を実践できる <input type="checkbox"/> 試験出てくるポイントを抑え、対策する						
11	6月29日	【確認テスト】テスト範囲:8~10 クイズ大会に向けた準備			<input type="checkbox"/> 自分が担当する分野を相手に解説できるように理解を深める						
12	7月6日	クイズ大会			<input type="checkbox"/> 他の分野の解説を聞き、理解を深める <input type="checkbox"/> 得意・苦手な分野を理解し、試験対策を行う						
13	7月13日	【確認テスト】模擬試験			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
14	7月27日	模擬試験 回答解説			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	月	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	ワークアウト&ダンス			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
3歳からクラシックバレエを始め、のちにジャズダンスやヒップホップ、創作ダンスを経験。大阪芸術大学ミュージカルコースを卒業後、フリーでミュージカルを中心に出演、ストレートプレイや小劇場での振り付け、子どもや専門学校の生徒にダンスを教えるなど幅広く活動している。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
日頃から姿勢や表情を自身で管理していけるようになる。ダンスの動きを見て自分で解読し、覚えられるようになる。				①接客者の最重要資本である自分自身と向き合い、お客様のために自身の表情や表現をプレゼントできる人材になる ②組織の一員として働く上で必要なチームワークや協調性を養う ③環境や天候に関わらず常に高いパフォーマンスを維持できる基礎体力を身につける							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 基礎体力向上のためのストレッチやアップ、筋力トレーニングにより正しい姿勢や歩き方を、さまざまなジャンルのダンスを学ぶことで、ショーサポートスタッフに必要なダンススキルを習得することを目標とします。											
(授業形式) 基礎体力向上トレーニングとダンスの実技中心授業。インプットだけでなく、自分達で振り付けを考えるアウトプットもやっていく。実技の様子を動画に記録し、自身の成長を可視化する。											
(評価方法) 演習テスト(単元毎)→基礎的なステップ、振り付け、ダンスを自身で創作する等、基本的には細かなダンスのスキルよりも、自分なりの工夫を織り交ぜながら表現しつつ相手に届ける姿勢を評価											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月13日	オリエンテーション ストレッチ、筋トレ、アップ ステップ練習			<input type="checkbox"/> 授業の到達目標、形式、授業の評価方法を知る <input type="checkbox"/> とにかくみて真似をする。身体を動かす!! <input type="checkbox"/> ステップ覚える						
2	4月20日	ストレッチ、筋トレ、アップ ステップ練習			<input type="checkbox"/> とにかく見て真似をする。身体を動かす!! <input type="checkbox"/> ステップを覚える						
3	4月27日	ストレッチ、筋トレ、アップ ステップ練習			<input type="checkbox"/> とにかくみて真似をする。身体を動かす!! <input type="checkbox"/> ステップ覚える						
4	5月11日	確認テスト①(演習:30点) クロスフロア(2人ずつ) ※IIクラスのみ5/12(火)1限に授業変更			<input type="checkbox"/> 覚えたステップを1人でできるようになる <input type="checkbox"/> テストを実施し、自身の現在の進歩を確認する						
5	5月18日	ストレッチ、筋トレ、アップ、クロスフロア テストの振り写し			<input type="checkbox"/> 覚えたステップを組み合わせていけるようになる <input type="checkbox"/> がむしやらではなく、少しずつ考えながらめいっばい動けるようになる						
6	5月25日	ストレッチ、筋トレ、アップ、クロスフロア テストの振り写し			<input type="checkbox"/> 覚えたステップを組み合わせていけるようになる <input type="checkbox"/> がむしやらではなく、少しずつ考えながらめいっばい動けるようになる						
7	6月1日	ストレッチ、筋トレ、アップ、クロスフロア テストの振り写し			<input type="checkbox"/> 踊りながら表情も気にしていけるようになる <input type="checkbox"/> 表情管理もしつつ、覚えたステップを組み合わせて披露することができる						
8	6月8日	確認テスト②(演習:30点) 覚えたステップを活かして振り付けを踊る			<input type="checkbox"/> めいっばい踊ることにより自身の体力向上を実感する <input type="checkbox"/> テストを実施し、自身の現在の進歩を確認する						
9	6月15日	ストレッチ、筋トレ、アップ、アイソレーション 振り付け考える			<input type="checkbox"/> 身体を細かく使うことにより自身の姿勢を治すことに繋がる <input type="checkbox"/> チームワークを活かして振り付けを考える						
10	6月22日	ストレッチ、筋トレ、アップ、アイソレーション 振り付け考える			<input type="checkbox"/> 身体を細かく使うことにより自身の姿勢を治すことに繋がる <input type="checkbox"/> チームワークを活かして振り付けを考える						
11	6月29日	ストレッチ、筋トレ、アップ、アイソレーション 振り付け考える			<input type="checkbox"/> 振り付けはただできただけでなく、魅せることも考える <input type="checkbox"/> 1人1人チームの1員として協力する						
12	7月6日	ストレッチ、筋トレ、アップ、アイソレーション 振り付け考える			<input type="checkbox"/> 振り付けはただできただけでなく、魅せることも考える <input type="checkbox"/> 1人1人チームの1員として協力する						
13	7月13日	確認テスト③(演習:40点) チームごとに分かれて、自分達で振り付けや構成を考える			<input type="checkbox"/> チームでしっかり協力し、観てる人を楽しませられたか <input type="checkbox"/> テストを実施し、自身の現在の進歩を確認する						
14	7月27日	前期フィードバック ストレッチ、筋トレ、アップ、今までの復習			<input type="checkbox"/> 後期に向けてどうしていくか自信と向き合う <input type="checkbox"/> 前期でやったことを復習 <input type="checkbox"/> せっかくなつた体力を落とさないよう工夫する						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	金	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	業界英会話			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
CELTA(英語教授法認定資格)・言語教育修士課程修了											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
自主教材				テーマパークにいらっしゃる訪日外国人の方、日本人在住の外国人の方への対応が自信をもってできるようになる。また質問の受け答えをするだけでなく自ら話しかけることができるようになる。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 各業界で使用される英単語・英語フレーズを学び、現場での英語対応力を強化することを目標とします。											
(授業形式) テーマに沿った単語やフレーズの確認のあと実技の練習を行う											
(教材) 自主教材											
(評価方法) ロールプレイ:4回 15点・15点・20点・20点=70点 振り返りシート:2x15 = 30点											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標 (Can Doなど)							
1	4月10日	Introduction Self introduction and reaction	<input type="checkbox"/> 学校内の挨拶とこの授業のポイントの理解 <input type="checkbox"/> 英語で自己紹介と、英語でリアクションをとってみよう。 <input type="checkbox"/> 今日の振り返りシート								
2	4月17日	Unit 1 : Infront of the rides 乗り物の前のご案内	<input type="checkbox"/> お客様に対しての適切なご挨拶と会話を続かせる <input type="checkbox"/> お客様に合わせた会話のトピックを提供できる <input type="checkbox"/> 今日の振り返りシート								
3	4月24日	Unit 1 : Infront of the rides 乗り物の説明	<input type="checkbox"/> 乗り物の説明ができる <input type="checkbox"/> ジェスチャーを使って説明を試みよう <input type="checkbox"/> 今日の振り返りシート								
4	5月8日	Unit 1 : 乗り物前の案内~乗り物の説明まで Role Play 1 15点	<input type="checkbox"/> テスト前復習 <input type="checkbox"/> Role play 実践 <input type="checkbox"/> 今日の振り返りシート								
5	5月15日	課外活動:サンリオピューロランド									
6	5月22日	Unit 2 : Park Entrance チケット購入	<input type="checkbox"/> チケットの購入をご案内できる <input type="checkbox"/> チケットの種類を英語で理解する <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
7	5月29日	Unit2 : Park Entrance イレギュラー対応	<input type="checkbox"/> お客様のリクエストに応えつつ適切なチケット購入の案内ができる <input type="checkbox"/> 相手のリクエストの英語が理解できる <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
8	6月5日	Role play 2 15点	<input type="checkbox"/> Unit 2 のRole play <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>								
9	6月12日	Unit 3 : Information Center おすすめの園内の周り方のご案内	<input type="checkbox"/> おすすめの園内の周り方が楽しく提案できる <input type="checkbox"/> お客様の質問に答えることができる <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
10	6月19日	Unit 3 : Information Center 忘れ物・落としもの案内	<input type="checkbox"/> よくある忘れ物の名前が英語で言える <input type="checkbox"/> お客様にご安心していただける声かけができる <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
11	6月26日	Role play 3 20点	<input type="checkbox"/> Unit 3 のRole play <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>								
12	7月3日	Unit 4: Caution 乗り物に乗るときの注意事項	<input type="checkbox"/> 乗り物に乗りながらの撮影・立って乗るなどの禁止事項が英語でご案内できる <input type="checkbox"/> お客様のニーズを考えながら接客ができる <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
13	7月10日	Unit 4: Caution 乗り物運休中・復旧についてのご案内	<input type="checkbox"/> 時間と日付の単語を理解し、ご案内ができる <input type="checkbox"/> 乗り物の運休状態や復旧についてのご案内ができる <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
14	7月17日	Unit 4: Caution 乗り物の規定のご案内	<input type="checkbox"/> 身長や年齢の規定を英語で説明できる <input type="checkbox"/> いろいろなお客様のご案内を適切に行うことができる <input type="checkbox"/> 今日の振り返り								
15	7月24日	Role Play 4 20点	<input type="checkbox"/> Unit 4 のRole play <input type="checkbox"/> ペアになってRole play を行う <input type="checkbox"/> Peer review								
16	7月31日	フィードバックと前期の復習	<input type="checkbox"/> 前期の送付復習を行う <input type="checkbox"/> Feed back <input type="checkbox"/>								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	水	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	就職筆記試験対策			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教員免許を取得し、中学・高校受験者の家庭教師を2年間、また高校での教職を5年間経験、本学では筆記試験やSPI対策の指導を実施中。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
就職筆記試験対策(言語分野・非言語分野) 講師作成の資料				ホテルやテーマパークの採用試験や、正社員登用時に広く一般的に行われる、筆記試験やSPI試験の対策を行い、各企業が設けている合格基準に到達することが目標。おもにSPIの非言語分野を取り扱い、SPI試験を解くための算数や数学の基礎力と、それを活かしてSPIの頻出問題を解き、企業の採用試験突破を目標とする。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) おもにSPIの非言語分野の頻出問題を取り扱う。講義では、頻出問題の例題を解いたのちに解答解説を行うことで解答力を身につけ、その後は個人の理解力に応じて、テキストの練習問題や応用問題を解く。											
(授業形式) テキストを中心に必要に応じて講師が準備した練習問題などを解き、確認テストで知識の習得を確認する。											
(評価方法) 筆記の確認テストの合計(満点100)により評価する。評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月15日	授業ガイダンス 就職筆記試験・SPI試験の概要 計算力・語彙力診断テスト(評価対象外)			<input type="checkbox"/> 授業形式と学習項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> 就職筆記試験やSPI試験とは何なのかを理解する <input type="checkbox"/> 言語・非言語解答のための基礎力を確認する						
2	4月22日	非言語分野:推論①(順序、内訳)			<input type="checkbox"/> 条件を整理し、図を用いて順序を正確に決定する力を身につける <input type="checkbox"/> 複数条件を矛盾なく処理し、正しい構成を導く力を身につける						
3	5月13日	非言語分野:推論②(正誤、平均)			<input type="checkbox"/> 条件や記述の真偽を正確に判断し、整理して結論を導く力を養う <input type="checkbox"/> 与えられた情報を整理し、複数条件を組み合わせて論理的にかつ論に導く						
4	5月20日	確認テスト:推論①② 非言語分野:推論③(人口密度、濃度)			<input type="checkbox"/> 推論(順序、内訳、正誤、平均)の習熟度を確認する <input type="checkbox"/> 人口密度の条件を整理し、面積と人口の関係を基に数量を矛盾なく推定する力を養う <input type="checkbox"/> 濃度と成分量の関係を整理し、条件に基づいて正確に計算できる力を身につける						
5	5月27日	非言語分野:推論④(席順/位置、対戦、条件)			<input type="checkbox"/> 席順や位置関係の条件を整理し、図示を用いて矛盾なく配置を特定する力を養う <input type="checkbox"/> 対戦結果の条件を整理し、勝敗関係から矛盾なく順位や関係性を推定する力を養う <input type="checkbox"/> 条件を整理し、矛盾の有無を判断しながら正しい選択肢を取捨する力を身につける						
6	6月3日	確認テスト:推論③④ 非言語分野:図表の読み取り(相関表)			<input type="checkbox"/> 推論(人口密度、濃度、席順/位置、対戦、条件)の習熟度を確認する <input type="checkbox"/> 相関表の構造(縦軸・横軸・項目の対応関係)を理解し、必要な数値を正確に読み取る <input type="checkbox"/> 設問条件をもとに、相関表の中から該当データを選択し解答できる						
7	6月10日	課外活動:東京ディズニーリゾート									
8	6月17日	非言語分野:図表の読み取り(相関表)			<input type="checkbox"/> 相関表の構造(縦軸・横軸・項目の対応関係)を理解し、必要な数値を正確に読み取る <input type="checkbox"/> 設問条件をもとに、相関表の中から該当データを選択し解答できる						
9	6月24日	非言語分野:図表の読み取り(空欄補充)			<input type="checkbox"/> 空欄補充問題の出題パターン(合計一致・割合一致・増減関係など)を理解できる <input type="checkbox"/> 図表内の既知情報を用いて、空欄に入る数値を論理的に導くことができる <input type="checkbox"/> 制限時間を意識し、空欄補充問題を効率よく解く手順を実行できる						
10	7月1日	確認テスト:図表の読み取り 非言語分野:場合の数			<input type="checkbox"/> 図表の読み取りの習熟度を確認する <input type="checkbox"/> 並べ方や選び方の条件を整理し、数え上げの基礎的な考え方を正確に使える力を養う <input type="checkbox"/> 条件に合う並べ方や選び方を整理し、基本的な数え上げを正確に行える力を養う						
11	7月8日	非言語分野:場合の数			<input type="checkbox"/> 並べ方や選び方の条件を整理し、数え上げの基礎的な考え方を正確に使える力を養う <input type="checkbox"/> 条件に合う並べ方や選び方を整理し、基本的な数え上げを正確に行える力を養う <input type="checkbox"/> 順序の有無や重複の扱いを区別し、状況に応じて適切な数え方を選択できる力を養う						
12	7月15日	非言語分野:確率			<input type="checkbox"/> 起こり得る事象を整理し、状況を数値的に捉えて確率を正しく求める力を身につける <input type="checkbox"/> 複数条件を整理して起こり方を分類し、妥当な確率を導く分析力を養う						
13	7月22日	非言語分野:確率			<input type="checkbox"/> 起こり得る事象を整理し、状況を数値的に捉えて確率を正しく求める力を身につける <input type="checkbox"/> 複数条件を整理して起こり方を分類し、妥当な確率を導く分析力を養う <input type="checkbox"/> 確率を基に状況を比較し、より適切な選択や判断につなげる力を育てる						
14	7月29日	確認テスト:場合の数/確率 前期のまとめ			<input type="checkbox"/> 場合の数と確率の習熟度を確認する <input type="checkbox"/> 前期に学習したSPI頻出問題の再確認						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	11	曜日	月	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	接客手話			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
<b>実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)</b> 勤務先に聴覚障害者がいたことをきっかけに手話を学び始め、約30年手話に携わり活動中。全国手話検定試験1級取得。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
全国手話検定試験3級				全国手話検定試験3級の合格を目指し、1年間で習得する単語数を増やし、短文や長文を読み取る力、表現できる力を習得する。 また、様々な対応事例を通して、テーマパーク業界で活用できる手話表現を習得する。							
<b>授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)</b>											
(授業概要) 指文字やあいさつなど手話に必要な基本スキルと、業界での接客に必要な手話表現を習得することを目標とします。 (授業形式) 各授業で決められたテーマに基づき、単語、短文等の表現方法を学ぶ。また、グループワークやゲーム等を通して、手話表現を理解し、習得する。 (評価方法) ①確認テスト(5コマ目、10コマ目)…講師が手話で表現した単語、短文の読み取り及び自身の手話表現を実施する。(各20点) ②実技テスト(12コマ目)…全国手話検定試験の実技試験(5級)を実施する。出題されたテーマに対して、1分間手話表現を行う。(20点) ③演習テスト(13コマ目)…全国手話検定試験で出題された過去問題(5級)を実施する。(40点)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月13日	オリエンテーション 手話概論5級/挨拶、名前等の手話表現			<input type="checkbox"/> 学習の目的と目標を理解する <input type="checkbox"/> 挨拶、自分の名前等の表現を覚える						
2	4月20日	自己紹介に関する表現 (挨拶、名前、指文字等)			<input type="checkbox"/> 挨拶、自分の名前等の表現ができる <input type="checkbox"/> 指文字を理解し、覚える						
3	4月27日	家族に関する表現			<input type="checkbox"/> 家族に関する単語や短文を理解し、覚える <input type="checkbox"/> 自分の家族について表現ができる						
4	5月11日	数字を使った表現			<input type="checkbox"/> 数字に関する単語や短文を理解し、覚える <input type="checkbox"/> 自分の誕生日や年齢等の表現ができる						
5	5月18日	確認テスト(演習:20点) 振り返り			<input type="checkbox"/> 1~4コマ目で学んだ単語、短文を読み取ることができる <input type="checkbox"/> 簡単な自己紹介ができる						
6	5月25日	趣味に関する表現			<input type="checkbox"/> 趣味に関する単語や短文を理解し、覚える <input type="checkbox"/> 自分の好きなもの・嫌いなものについて表現ができる						
7	6月1日	都道府県の表現			<input type="checkbox"/> 47都道府県の表現を理解し、覚える <input type="checkbox"/> 自分や家族の出身地が表現ができる						
8	6月8日	仕事に関する表現			<input type="checkbox"/> 仕事に関する単語や短文を理解し、覚える <input type="checkbox"/> 自分や家族の仕事について表現ができる						
9	6月15日	施設に関する表現			<input type="checkbox"/> 施設に関する単語や短文を理解し、覚える <input type="checkbox"/> 簡単な道案内ができる						
10	6月22日	確認テスト(演習:20点) 振り返り			<input type="checkbox"/> 6~9コマ目で学んだ単語、短文を読み取ることができる <input type="checkbox"/> 趣味や出身地等の表現ができる						
11	6月29日	実技テスト対策			<input type="checkbox"/> 出題されるテーマに対して、内容を考え、表現ができる <input type="checkbox"/> 相手の言っていることが読み取れ、自分の言いたいことが表現できる						
12	7月6日	確認テスト(演習:20点) 全国手話検定試験5級_模擬試験			<input type="checkbox"/> 出題されるテーマに対して、1~2分程度、手話表現ができる <input type="checkbox"/> 1~2程度、手話での会話ができる						
13	7月13日	確認テスト(筆記:40点) 全国手話検定試験5級_模擬試験			<input type="checkbox"/> 出題される単語、短文の80%の正答を得ることができる						
14	7月27日	ろう者による特別授業			<input type="checkbox"/> これまで学んだ手話を使い、ろう者とコミュニケーションが取れる <input type="checkbox"/> 自分の苦手なところを再確認する						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	11	曜日	水	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	表現トレーニング I			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
俳優養成所にて講師歴30年。全国の小中学校並びに大学院・企業・病院等でのワークショップの開催。H26年より現在まで警察庁・全国銀行協会と組んで特殊詐欺撲滅運動に参加。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
大切なことは授業内に留まらず、学校生活・日常生活全体でテーマパークスタッフとしてのプロ意識を育むこと。				①テーマパークスタッフは、その世界観を演じる役者であることを認識し、自身のコンディションに左右されず、お客様の前で常に与えられた役割を演じることができるようになる。 ②学校生活を一つの舞台として捉え、テーマパークスタッフとして誰にでも気さくに接し、挨拶・発言・笑顔・アイコンタクトを相手に届けられる人間になる。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 舞台上でのセリフや演技表現、演出技法を学ぶ。演劇メソッドを用いたワークを通して、自己の表現力・発想力・コミュニケーション能力を高めチームワークを養う。											
(授業形式) 基礎的な表現力や発想力をインプットした後は、単元ごとに決められたグループで練習を行い、講師に正解を聞くのではなく学生がお互いにアウトプットしながら発表方法を模索していく。実技の様子を動画に記録し、自身の成長を可視化する。											
(教材) 歌舞伎演目や絵本作品からの抜粋。											
(評価方法) 演習テスト(全三回)……一人ないしは複数によるグループでの発表を通して、自分なりの創意工夫を凝らした作品を観客に届ける姿勢を評価。											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標 (Can Doなど)							
1	4月15日	オリエンテーション(15分) 自己紹介・テキスト配布(外郎売読み稽古)	<input type="checkbox"/> 声を出すという無意識を意識化してゆく <input type="checkbox"/> 言葉を扱うという無意識を意識化してゆく <input type="checkbox"/> それを「話す」「読む」に繋げる意識を持つ								
2	4月22日	ウォーミングアップ(30分)緊張について 外郎売稽古(読み稽古)	<input type="checkbox"/> 脱力・平常心の大切さを知る(「普通」を得るためにすべき事) <input type="checkbox"/> その上で「伝える」という意識を持つ <input type="checkbox"/>								
3	5月13日	W-UP・観察力について 外郎売稽古(読み稽古)	<input type="checkbox"/> 好奇心の大切さを知る(見えるではなく「見る」ということ) <input type="checkbox"/> 自分の声に対してきちんと意識を持つ <input type="checkbox"/>								
4	5月20日	W-UP・伝達力について 確認テスト①(演習:30点)「外郎売」暗唱 第二テキスト配布「ちいさなあなたへ」	<input type="checkbox"/> 相手を意識する大切さを知る(「届ける」ということ) <input type="checkbox"/> 自己満足で終わらせず、どう見えているのかどう感じられているのかを客観的に考察する <input type="checkbox"/> 課題への責任として暗記とどう向き合ったかの確認								
5	5月27日	フィードバック ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	<input type="checkbox"/> 発表を振り返り、自己の武器と弱点を考察する <input type="checkbox"/> その弱点克服に対して、何が必要なかを考える <input type="checkbox"/> グループを決めて各班で配役・構成を考える								
6	6月3日	W-UP・想像力について ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	<input type="checkbox"/> 五感を更に研ぐ大切さを知る(「想いを伝える」ということ) <input type="checkbox"/> 目に見えない大事なものをしっかりと表現し、それを心と身体を使って届ける意識を持つ <input type="checkbox"/>								
7	6月10日	課外活動:東京ディズニーリゾート									
8	6月17日	W-UP・子ども心・遊び心について ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	<input type="checkbox"/> ゆとりを持つ大切さを知る(大人として遊ぶということ) <input type="checkbox"/> 頭で考えるだけではなく、心と身体を使うことで生まれるものがあることを知る <input type="checkbox"/> 各グループごとに構成・演出を自分達で創造(意見を出し合う)してみる								
9	6月24日	W-UP・瞬発力について 確認テスト②(演習:30点) 「ちいさなあなたへ」グループで朗読	<input type="checkbox"/> 一瞬のリアリティを積み重ねる大切さを知る(集中するということ) <input type="checkbox"/> 自己の中にオンオフのスイッチを持つ感覚を知る <input type="checkbox"/>								
10	7月1日	W-UP・調整力について ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	<input type="checkbox"/> ブレないクオリティを保つ大切さを知る(感情・体調に左右されないということ) <input type="checkbox"/> 表現をする上で相手との呼吸や観客への意識を持つ <input type="checkbox"/> 他者と考えを合わせるために、自分軸の持ち方の必要性を知る								
11	7月8日	W-UP・共有力について ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	<input type="checkbox"/> ホスピタリティの大切さを知る(誰かと創るということ) <input type="checkbox"/> 違いがあることをきちんと認め合った上で、相手を否定しない自分を意識する <input type="checkbox"/>								
12	7月15日	ちいさなあなたへ(立ち稽古・通し稽古)	<input type="checkbox"/> グループとして上演に向けてのブラッシュアップを考える <input type="checkbox"/> 個人としてどう見えているのかの客観的考察と、細部における更なる創意工夫を考える <input type="checkbox"/>								
13	7月22日	確認テスト③(演習:40点) 「ちいさなあなたへ」上演	<input type="checkbox"/> あらためて声・言葉に対する意識確認 <input type="checkbox"/> 自身が共演者と共に表現を楽しんでいるかの意識確認 <input type="checkbox"/>								
14	7月29日	フィードバック	<input type="checkbox"/> 上演を振り返り、表現者としての自己の武器と弱点をあらためて知る <input type="checkbox"/> その弱点克服に対して、何が必要なかを考える <input type="checkbox"/>								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	E11	曜日	火	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	プレゼンテーションスキル			必修・選択	必修	講師名			実務経験	-	
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
旅行会社にて企画・営業・添乗業務全般を経験。本校では述べ10年新卒・中途採用の面接官をすることも学生への面接指導も担当											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
オリジナル教材にて実施				面接選考へ向け、面接官とのコミュニケーションを意識した会話力・表現力を習得する。特に前期は「面接形式を用いたプレゼンテーション能力育成」を中心に、「回答瞬発力」を高めるため、想定質問を数多くこなし伝える意識を養う。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 本授業は、面接形式のトレーニングを通して、人前で自分の考えや経験を分かりやすく伝える自己プレゼンテーション能力を身につけることを目的とする。表情・発声・姿勢といった非言語コミュニケーションから、質問に対する構成力・瞬発力まで段階的に実践を重ね、最終的に人前で自信を持って話せる力の定着を図る。											
(授業形式) 実技中心の演習形式で行う。個人発表、ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション等を実施し、必要に応じて動画撮影による振り返りを行う。											
(評価方法) 評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。実技による評価を行う。ワークシート・課題提出、授業態度にて評価項目											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標(Can Doなど)							
1	4月14日	授業概要説明 オリエンテーション 自己表現トレーニング①	<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 授業の到達目標、授業形式、評価方法を理解する <input type="checkbox"/> 就活面接で実施される「自己紹介」を実践・発表する<配点:5点>								
2	4月21日	自己表現トレーニング② 効果的な「自己紹介」 発表時達成目標:「笑顔」	<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「笑顔づくり」を実践し、面接における表情管理の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動における「自己紹介」の違い・意味を理解し、実践できるようになる <input type="checkbox"/> 自己紹介内容を再構築し、改めて発表する<配点:15点>								
3	4月28日	自己表現トレーニング③ 指定課題:「専門学校志望理由」	<input type="checkbox"/> 言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動における質問課題、「専門学校志望理由」の原稿を作成し、述べるができる <input type="checkbox"/> 動画撮影を行う、自己紹介→専門学校志望理由(※必須) <配点:5点>								
4	5月12日	自己表現トレーニング④ 指定課題:「専門学校志望理由」 発表時達成目標:「声の大きさ」	<input type="checkbox"/> 言語トレーニング「発声や活舌」を実践し、面接における声の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 「専門学校志望理由」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点:15点>								
5	5月19日	自己表現トレーニング⑤ 指定課題:「成功体験」と「失敗体験」	<input type="checkbox"/> 所作トレーニング「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動における質問課題、「成功体験・失敗体験」の原稿を作成し、述べるができる <配点:5点>								
6	5月26日	自己表現トレーニング⑥ 指定課題:「成功体験」と「失敗体験」 発表時達成目標:「姿勢(着席)」	<input type="checkbox"/> 所作トレーニング「姿勢」を実践し、面接における姿勢の重要性を理解する <input type="checkbox"/> 「成功体験」「失敗体験」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点:15点>								
7	6月2日	自己表現トレーニング⑦ 指定課題:「周りからどんな人と言われるか」	<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面における気配りを理解する <input type="checkbox"/> 周りから見た自分を客観的に認識し、自身の意外な一面や違いを整理することができる <input type="checkbox"/> 就職活動における質問課題、「周りからどんな人と言われるか」の原稿を作成し、述べるができる<配点:5点>								
8	6月9日	自己表現トレーニング⑧ 指定課題:「周りからどんな人と言われるか」 発表時達成目標「アイコンタクト」	<input type="checkbox"/> 表情トレーニング「アイコンタクト」を実践し、対面における気配りを理解する <input type="checkbox"/> 「周りからどんな人と言われるか」の解説・ポイントを聞いて再構築し、改めて発表する<配点:15点>								
9	6月16日	自己表現トレーニング⑨ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上	<input type="checkbox"/> アイスブレイク「雑談力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる<配点:5点>								
10	6月23日	自己表現トレーニング⑩ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上	<input type="checkbox"/> アイスブレイク「雑談力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる<配点:5点>								
11	6月30日	自己表現トレーニング⑪ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上 発表時達成目標:「学んだこと全て」	<input type="checkbox"/> アイスブレイク「伝達力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 面接における立ち振る舞い「笑顔・声・姿勢・アイコンタクト」など基本所作を理解する <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる<配点:10点>								
12	7月7日	自己表現トレーニング⑫ ※必須課題 指定課題:「授業当日発表」瞬発力向上	<input type="checkbox"/> アイスブレイク「雑談力」を上げる(2分トーク) ※テーマ・条件当日設定 <input type="checkbox"/> 質問の回答に対し、指定時間内に原稿作成・回答発表を行い、回答の瞬発力をあげる								
13	7月14日	ディスカッショントレーニング① グループディスカッション(課題解決型)	<input type="checkbox"/> グループディスカッションの基本的な流れ(目的共有・意見出し・整理・結論)と、企業が求める評価ポイントを理解することができる <input type="checkbox"/> 司会・書記・タイムキーパーなどの役割を理解し、自身の役割を意識した行動ができる <input type="checkbox"/> 課題に対して自分の意見を論理的に伝え、他者の意見を尊重しながら建設的な話し合								
14	7月21日	ディスカッショントレーニング② グループディスカッション(ディベート型)	<input type="checkbox"/> ディベート型グループディスカッションの特徴(立場の明確化・主張と根拠・反論)を理解することができる <input type="checkbox"/> 相手の意見を正しく理解し、感情的にならずに反論や補足意見を行うことができる <input type="checkbox"/> 個人の主張だけでなく、チームとしての結論や主張の一貫性を意識した議論に参加する								
15	7月28日	ディスカッショントレーニング③ グループディスカッション(アイデア型)	<input type="checkbox"/> アイデア型グループディスカッションにおいて、正解のない課題に対する考え方や評価の視点を理解することができる <input type="checkbox"/> 自身の発想を他者に分かりやすく伝え、他者の意見を活かしながらアイデアを発展させることができる								

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	木	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	キャリアガイダンス			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
キャリアコンサルタント(国家資格)を取得し、本学園で20年間就職指導を実施している。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
オリジナル教材			将来、自身が想い描くキャリアを描けるよう、これまでの経験を整理し、就職活動へ向けた準備を行う。また、「自分と向き合う」ことで、自身が大切にしている価値観に気づき、企業にアピールする自分の「強み」を認識し、自己PRの作成に繋げる。またAI使用は自分の経験を整理・言語化するための補助ツールとして使用する								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 本授業は、就職活動および将来のキャリア形成に向け、自己理解を深め、自身の強みや価値観を言語化することを目的とする。これまでの経験や出来事を振り返りながら整理・分析を行い、企業に伝えるべき「自己PR」「学生時代に力を入れたこと(ガクチカ)」を構築する。また、生成AIを補助的なツールとして使用し、文章構成や表現の改善を行うことで、論理的かつ説得力のある文章作成力を養う。授業後半では、文章だけでなくアピール動画の作成にも取り組み、実践的なアウトプットを通じて自己表現力の向上を図る											
(授業形式) 講義後に、ワークシートを元に自己分析を行う。その後、実技等を通じ体感的理解に繋げる。											
(評価方法) 評価基準はA(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)。ワークシート・課題提出、文章課題(自己PR)、授業参加姿勢、アピール動画より総合的に評価します。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月16日	オリエンテーション 就職活動スケジュール キャリアをデザインする、「働く」を考える			<input type="checkbox"/> 授業の形式と実施項目、評価基準を理解する <input type="checkbox"/> 就職活動の全体的なスケジュールを把握することができる【選考基準・学校推薦企業】 <input type="checkbox"/> キャリアをデザインするうえで必要な「自分を知る」、「社会を知る」を理解することができる						
2	4月23日	自己理解① 就職活動における経験の重要性 提出20点			<input type="checkbox"/> 就職活動で必要となる「これまでの経験」を整理することができる <input type="checkbox"/> 「これからの経験」を想定し、今後の目標を設定することができる <input type="checkbox"/> 就職活動における情報収集の手段、整理の方法を学ぶことができる						
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	自己理解② 過去の経験を整理する 提出10点			<input type="checkbox"/> 自己理解・分析の目的と進め方を理解する <input type="checkbox"/> 企業が求める自己PRを理解する <input type="checkbox"/> 成功経験/失敗体験など出来事を整理する						
5	5月21日	自己理解③ 過去の経験を整理する 提出10点			<input type="checkbox"/> 影響を受けた他者、周囲の人間関係を整理することができる/企業実習希望調査 <input type="checkbox"/> 挑戦してよかったこと、今年度中に自ら挑戦しようと思っていることを整理する						
6	5月28日	自己理解④ 過去の経験の整理と強み			<input type="checkbox"/> 過去の経験をもとに、エピソードを「3つ選出」し、自身の軸として確立することができる <input type="checkbox"/> 自身の軸と目指す業界との共通点を見つけ落とし込みをすることができる						
7	6月4日	設問トレーニング① 文章構成 提出10点			<input type="checkbox"/> 生成AI使用 コンテキストを使用したプロンプトを入力し実施する <input type="checkbox"/> 設問に対し、論理的な文章を構築することができる <input type="checkbox"/> PREP法など簡単な文構成を学びセルフチェックが自身で行えるようになる。						
8	6月11日	設問トレーニング② 自己PR 課題10点			<input type="checkbox"/> 自己PRの基本構成・ポイントを把握することができる <input type="checkbox"/> 具体的な「行動」に焦点をあて、アピールポイント(人柄・性格)を整理することができる <input type="checkbox"/> 生成AIを使用した文章を、チェッカーにかけ使用率を確認し、使用限度を確認する <input type="checkbox"/> 企業実習先発表						
9	6月18日	設問トレーニング③ 自己PR 課題20点			<input type="checkbox"/> 自己PRの題材を選定しアピールポイントを整理・決定する <input type="checkbox"/> 具体的な行動における「場面・状況・課題・成長・変化」等を説明することができる <input type="checkbox"/> 自己PRの題材について指定文字数で説明することができる(200/300/400文字) <input type="checkbox"/> 履歴書提出						
10	6月25日	企業アプローチ インターンシップ準備と公欠 身だしなみの重要性と業界特性			<input type="checkbox"/> 学内における就活ルール、公欠ルール等を把握する / 企業実習先訪問、面接注意事項 <input type="checkbox"/> 就職活動に必要な書類を把握することができる <input type="checkbox"/> 履歴書・エントリーシートの役割や違いを学ぶことができる <input type="checkbox"/> 就職活動やインターンシップ選考など、身だしなみが与える第一印象の重要性を理解することができる						
11	7月2日	選考トレーニング① 採用基準と採用傾向			<input type="checkbox"/> 業界の採用選考において重視される人物像と評価基準を理解する。 <input type="checkbox"/> 職種・企業の採用基準と自身の経験・強みを結びつけて整理することができる <input type="checkbox"/> 業界の採用フローと特徴を理解することができる						
12	7月9日	選考トレーニング② オンライン選考とAI採用選考			<input type="checkbox"/> オンライン選考(Web面接・動画選考)の特徴と、対面選考との違いを理解することができる <input type="checkbox"/> オンライン選考時における注意点(通信環境、カメラ位置、表情、声のトーン、背景・服装)を理解し、事前準備ができる 企業実習オンライン面接 <input type="checkbox"/> 画面越しでも好印象を与えるための話し方・リアクション・自己表現のポイントを理解することができる <input type="checkbox"/> AI面接・AI採用試験を導入している企業があることを理解し、評価の仕組みや特徴を把握することができる						
13	7月16日	選考トレーニング③ オンライン選考とAI面接ツール			<input type="checkbox"/> AI面接ツールを把握(利用)し、選考対策に備える/企業実習電話、入寮・退寮 <input type="checkbox"/> AI面接・AI採用試験を導入している企業があることを理解し、評価の仕組みや特徴を把握することができる						
14	7月23日	設問トレーニング⑤ アピール動画の作成 提出20点			<input type="checkbox"/> 自己アピール動画の作成手順を知ることができる <input type="checkbox"/> 指定課題に沿った、動画を収録することができる						
15	7月30日	進路面談 ※面談中にアピール動画の収録実施 成績フィードバック			<input type="checkbox"/> 成績フィードバック <input type="checkbox"/> 後期への課題を整理することができる <input type="checkbox"/> 夏季休暇における過ごし方						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	1	曜日	金	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	テーマパーク業界研究			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
テーマパークでの接客および3年間の人事(新卒採用・育成)実務で培った社内調整力と選考視点を活かし、組織の連携構造や業界で求められる具体的なマインドセットを実践的に指導する。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
講師作成資料 現場を『提供者視点』で観察し、登壇社員への質問を事前に準備して授業に臨むこと。				テーマパークの構造や収益モデルをビジネス視点で理解し、多種多様な職種の役割と連携を学ぶ。現役社員による講話やワークを通じ、現場のリアルな課題やホスピタリティの本質に触れ、業界で求められる「自ら考え動くマインドセット」を養う。将来、周囲と協力し組織の理念を具現化できる社会人基礎力の修得を目標とする。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テーマパーク業界の構造や企業理念の理解に加え、実践的活動を通じて業界理解と自分に合った就職先を見極める。											
(授業形式) テーマパーク業界で働くことのやりがいやポイントを講義形式で学んだ後、各部門の現役社員が交代で登壇し講話およびワークを実施する。											
(評価方法) 全5回の「職能別研修」実施後に提出するレポートの結果(各20点×5回=合計100点満点)により評価する。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標(Can Doなど)					
1	4月10日	オリエンテーション			<input type="checkbox"/> 授業の進め方と評価基準を理解している <input type="checkbox"/> 自分が興味のあるパークとその理由を言語化できる						
2	4月17日	テーマパーク業界の全体像とビジネスモデル			<input type="checkbox"/> テーマパークの主な収入源3本柱を答えられる <input type="checkbox"/> 収益とサービス維持の関係性を説明できる <input type="checkbox"/>						
3	4月24日	テーマパーク業界で働くとは			<input type="checkbox"/> 各雇用形態による責任と役割の違いを理解している <input type="checkbox"/> 職責に応じた「社会人のマインド」を理解している <input type="checkbox"/> 様々な働き方の選択肢を広げて考えられる						
4	5月8日	テーマパークを支える組織の仕組み 課外活動事前学習			<input type="checkbox"/> 課外活動に向けて目的を立てることができる <input type="checkbox"/> 組織全体で「理念」を届けていることを理解している						
5	5月15日	課外活動:サンリオピューロランド									
6	5月22日	課外活動振り返り			<input type="checkbox"/> 他者の視点から新しい発見や気づきを得ている <input type="checkbox"/> 自分の観察結果をグループメンバーに共有できる <input type="checkbox"/> 接客以外の「裏方」の職種を3つ以上挙げられる						
7	5月29日	サンリオエンターテイメントについて知る			<input type="checkbox"/> サンリオエンターテイメントの企業理念を説明できる <input type="checkbox"/> 会社の歴史を知り、現在の事業への繋がりを理解している						
8	6月5日	職能別研修に向けた事前学習			<input type="checkbox"/> 企業の方に対して適切なマナーと態度で接することができる <input type="checkbox"/> 意図のある質問を自ら作成し、発言できる <input type="checkbox"/> 各部署の仕事の価値を事前に想像(仮説立て)できる						
9	6月12日	職能別研修①:(仮)パーク運営部 確認テスト(レポート:20点)			<input type="checkbox"/> 業務内容ややりがいを理解する <input type="checkbox"/> 自分の仮説とプロのリアルの差を認識できる						
10	6月19日	職能別研修②:(仮)販売本部(商品・飲食) 確認テスト(レポート:20点)			<input type="checkbox"/> 業務内容ややりがいを理解する <input type="checkbox"/> 自分の仮説とプロのリアルの差を認識できる						
11	6月26日	振り返り研修(運営・販売)			<input type="checkbox"/> 前2回の学びを自分の言葉でまとめられる <input type="checkbox"/> 次週の部署に対して関心を持ち、仮説を立てられる						
12	7月3日	職能別研修③:(仮)企画制作部 確認テスト(レポート:20点)			<input type="checkbox"/> 業務内容ややりがいを理解する <input type="checkbox"/> 自分の仮説とプロのリアルの差を認識できる						
13	7月10日	職能別研修④:(仮)ショー運営部 確認テスト(レポート:20点)			<input type="checkbox"/> 業務内容ややりがいを理解する <input type="checkbox"/> 自分の仮説とプロのリアルの差を認識できる						
14	7月17日	振り返り研修(制作・ショー運営)			<input type="checkbox"/> 前2回の学びを自分の言葉でまとめられる <input type="checkbox"/> 次週の部署に対して関心を持ち、仮説を立てられる						
15	7月24日	職能別研修⑤:(仮)人事×ホスピタリティ推進課 確認テスト(レポート:20点)			<input type="checkbox"/> 業務内容ややりがいを理解する <input type="checkbox"/> 自分の仮説とプロのリアルの差を認識できる						
16	7月31日	まとめ			前期を通して得た最大の「新発見」を言語化できる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	I	曜日	金	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	業界観光地理			必修・選択	必修	講師名				実務経験	-
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
動画やホームページにて情報を収集し、興味を持った地域や施設に実際に足を運ぶ				この科目は、遊園地・テーマパーク業界で活躍するために必要な日本の観光資源に関する専門知識を習得することを目標とします							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テーマパーク周辺観光知識「観る・食べる・体験する」を学び、ゲストとの会話のきっかけを習得する											
(授業形式) 各単元初回は講義形式でテーマ地域の代表的な観光資源を学ぶ。その後調べ学習と発表で知識を共有する											
(教材) オリジナルデジタルテキスト											
(評価方法) 確認テストの合計点で評価											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月10日	オリエンテーション、近畿地方①			<input type="checkbox"/> 授業の目標を理解 <input type="checkbox"/> 近畿地方の観光資源を理解						
2	4月17日	班・担当地決め、資料作成・提出 近畿地方①			<input type="checkbox"/> 担当地の魅力を資料にまとめる <input type="checkbox"/> 課題提出(スライドとシナリオ)						
3	4月24日	班ごとに発表			<input type="checkbox"/> その土地の魅力を発表し共有する <input type="checkbox"/> その土地からお越しのお客様と、その土地のことについて会話ができるようになる						
4	5月8日	近畿地方②			<input type="checkbox"/> 近畿地方の観光資源を理解						
5	5月15日	課外活動:サンリオピューロランド									
6	5月22日	班・担当地決め、資料作成・提出 近畿地方②			<input type="checkbox"/> 担当地の魅力を資料にまとめる <input type="checkbox"/> 課題提出(スライドとシナリオ)						
7	5月29日	班ごとに発表			<input type="checkbox"/> その土地の魅力を発表し共有する <input type="checkbox"/> その土地からお越しのお客様と、その土地のことについて会話ができるようになる						
8	6月5日	中部地方①			<input type="checkbox"/> 中部地方の観光資源を理解						
9	6月12日	班・担当地決め、資料作成・提出 中部地方①			<input type="checkbox"/> 担当地の魅力を資料にまとめる <input type="checkbox"/> 課題提出(スライドとシナリオ)						
10	6月19日	班ごとに発表			<input type="checkbox"/> その土地の魅力を発表し共有する <input type="checkbox"/> その土地からお越しのお客様と、その土地のことについて会話ができるようになる						
11	6月26日	中部地方②			<input type="checkbox"/> 中部地方の観光資源を理解						
12	7月3日	班・担当地決め、資料作成・提出 中部地方②			<input type="checkbox"/> 担当地の魅力を資料にまとめる <input type="checkbox"/> 課題提出(スライドとシナリオ)						
13	7月10日	班ごとに発表			<input type="checkbox"/> その土地の魅力を発表し共有する <input type="checkbox"/> その土地からお越しのお客様と、その土地のことについて会話ができるようになる						
14	7月17日	関東地方			<input type="checkbox"/> 関東地方の観光資源を理解						
15	7月24日	班・担当地決め、資料作成・提出 関東地方			<input type="checkbox"/> 担当地の魅力を資料にまとめる <input type="checkbox"/> 課題提出(スライドとシナリオ)						
16	7月31日	班ごとに発表			<input type="checkbox"/> その土地の魅力を発表し共有する <input type="checkbox"/> その土地からお越しのお客様と、その土地のことについて会話ができるようになる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	II	曜日	木	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	ゲストオペレーション I			必修・選択	必修	講師名				実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
テーマパークの現場で多数職種の業務経験の他。新人教育や入社導入研修のインストラクターなどを担当。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
実際にテーマパークを訪れた際に、スタッフのオペレーションを見て、授業の学びをより明確にする。				多職種の基礎知識・スキルを網羅的に学習することで、担当施設や職種を問わず活躍できる人材を目指す。 接客者の根幹である「相手を笑顔にしたい」と思うホスピタリティマインドを養う。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テーマパークで働くスタッフとしての基礎知識、ゲストアプローチの方法を学ぶ。											
(授業形式) テーマパークスタッフとしてのマインドセット、スタッフの行動指針を講義形式で受講後、基本的なスキルを演習形式で習得する。											
(評価方法) 筆記テストおよび演習テストにて、100点満点で評価											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月16日	【マインドセット】 テーマパークを訪れるお客様の想い			<input type="checkbox"/>	テーマパークを訪れるお客様の想いを理解する					
2	4月23日	【マインドセット】 スタッフがお客様にプレゼントできるもの			<input type="checkbox"/>	スタッフが渡すべきプレゼントを説明できる					
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	スタッフの行動指針「Safety・Courtesy」			<input type="checkbox"/>	ハインリッヒの法則・メラビアンの法則について説明できる <input type="checkbox"/> 婉曲話法を実践できる					
5	5月21日	スタッフの行動指針「Show」			<input type="checkbox"/>	強化遠近法について説明できる <input type="checkbox"/> 施設のBGSについて調査し、テーマパークの魅力に触れる					
6	5月28日	スタッフの行動指針「Efficiency・Inclusion」 テーマパークの歴史と定義			<input type="checkbox"/>	カバーリングオペレーションの意味を説明できる <input type="checkbox"/> コンテキストについて説明できる					
7	6月4日	確認テスト(筆記:40点) 課外活動事前学習			<input type="checkbox"/>	課外活動の際の行動スケジュールをチームで作成する					
8	6月11日	ゲスト対応の基礎① 「道案内」			<input type="checkbox"/>	スタッフが正しい言葉遣いができる <input type="checkbox"/> スタッフになりきって道案内が実践できる					
9	6月18日	ゲスト対応の基礎① 「特別な日の演出」			<input type="checkbox"/>	お客様の特別な日に寄り添うマインドを身に付ける <input type="checkbox"/> スタッフになりきって特別な日の演出が実践できる					
10	6月25日	ゲスト対応の基礎① 「写真撮影」			<input type="checkbox"/>	写真撮影のポイントを理解する <input type="checkbox"/> スタッフになりきって写真撮影が実践できる					
11	7月2日	校内フォトコンテスト			<input type="checkbox"/>	その場にあるものを生かして、思い出に残る写真を撮ることができる					
12	7月9日	スピール練習			<input type="checkbox"/>	スピール練習を通じてショーの重要性を体感する					
13	7月16日	確認テスト(演習:20点) スピール発表①			<input type="checkbox"/>	世界観を演出するスピールの発表を行う					
14	7月23日	確認テスト(演習:40点) スピール発表②			<input type="checkbox"/>	「演じ分け」を意識しながら、多くのお客様の前でスピール発表を行う					
15	7月30日	まとめ									

履修時期	2026年度前期	授業クラス	11	曜日	月	時限	1	単位数	2	時間数	30
科目名	テーマパークオペレーションプランニング	必修・選択	必修	講師名					実務経験	有	
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
テーマパークの現場で多数職種の業務経験の他。新人教育や入社導入研修のインストラクターなどを担当。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
日頃から異なる年齢や経験を持つ人と多くのコミュニケーションを取り、多様な価値観に触れる。			部署を越えたオペレーションが必要な現代のテーマパーク業界で、メンバーや業務内容を問わずオーナーシップを発揮できる人材になる。 1年次:目上の人と行動するうえで主体性を持ち、従うだけでなく自発的に行動する姿勢を身に付ける。 2年次:キャリアアップ後の後輩指導、チームマネジメントの場面を想定し、チーム運営を円滑に進めるための自発的行動ができるよ								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) テーマパーク業界で必要とされている主体性を養い、2年生合同授業。与えられる課題に対して当事者意識を持ちながら、どのような環境でもオーナーシップを発揮できる人材を目指す。											
(授業形式) 単元毎に学年混合のチームを編成し、チームでの演習が中心の授業											
(評価方法) 授業内で実施する演習への参加、及びレポート提出にて評価											
回数	実施日	学習項目や学習概略	自己チェック	到達目標 (Can Doなど)							
1	4月13日	オリエンテーション	<input type="checkbox"/> 授業概要を理解する								
2	4月20日	オーナーシップとは	<input type="checkbox"/> オーナーシップとは何か説明できる <input type="checkbox"/> 「目的」と「ゴール」の違いを説明できる								
3	4月27日	チームビルディング(2学年合同) 確認テスト【レポート:20点】	<input type="checkbox"/> 立場の異なるメンバー同士でオーナーシップを発揮しながら、ワークに取り組むことができる								
4	5月11日	入学前イベント 企画	<input type="checkbox"/> 課題に対して、当事者の一人として自分の意見を述べるができる <input type="checkbox"/> 下級生が意見を言いやすい、心理的安全性の高いチーム環境を創る <input type="checkbox"/> 次回の準備をスムーズに進めるために必要なタスクの洗い出しを行う								
5	5月18日	入学前イベント 準備	<input type="checkbox"/> 限られた準備時間の中で、目的意識・納期意識を持って準備を進める <input type="checkbox"/> 必ずリハーサルを実施し、発表時の不確定要素を減らす努力をする								
6	5月25日	入学前イベント 発表	<input type="checkbox"/> 台本上の役割だけでなく、自分が今できることを考えながら、チームの発表を実施する <input type="checkbox"/> 他チームの発表を通じて、目的達成のための異なる手段を体感し、自身の手札を増やす								
7	6月1日	入学前イベント 振返 確認テスト【レポート:40点】 接客事例研究	<input type="checkbox"/> 「PDCAサイクル」の重要性を理解する <input type="checkbox"/> テーマパーク・遊園地の現場でよくある接客事例について、ディスカッションを通じて上級生の立場から複数の対応方法を習得する								
8	6月8日	成果発表概要説明	<input type="checkbox"/> 成果発表の概要を理解し、1年次のゴールをイメージできる								
9	6月15日	夏季企業実習座談会 運営実技 顔合わせ	<input type="checkbox"/> 座談会を通じて、1年生が企業実習に臨むための心の準備をサポートする								
10	6月22日	運営実技 練習①	<input type="checkbox"/> 1年生を下記項目まで育成する <input type="checkbox"/> チームでお客様を迎えるための流れを理解する <input type="checkbox"/> トレーナーのサポートを受けながら、各ポジションのオペレーションが実践できる								
11	6月29日	運営実技 練習②	<input type="checkbox"/> 1年生を下記項目まで育成する <input type="checkbox"/> 全てのポジションにおいて、1人で標準的なオペレーションが実践できる <input type="checkbox"/> お客様と会話を続けながら、礼儀正しくお迎えができる								
12	7月6日	運営実技 発表 確認テスト【レポート:40点】	<input type="checkbox"/> 1年生を下記項目まで育成する <input type="checkbox"/> 程よい緊張感の中で、明るく礼儀正しいスタッフを演じながら、チームでお客様をお迎えできる								
13	7月13日	2年生成果発表企画プレゼンリハ									
14	7月27日	まとめ	<input type="checkbox"/> 前期の学びと自信の成長を可視化する								